

「絆」プロジェクト北九州の概要

- 東日本大震災の発生により、多くの方が避難生活を余儀なくされている。
- やむなく県外等へ一時避難する被災者もある。
- 地域＝「絆」で避難者を受け止め、地域の一員として温かく受け入れることが必要。



- 社会福祉協議会、自治会、NPOなどの民間団体と市が協働で、住宅の確保から生活必需品の提供、心のケアなど、本市に一時避難された方の生活再建に向けて、物心両面の手厚い支援を開始。

「新しい公共」としての支援スキーム

民間、NPO、行政が協働で住宅確保から生活支援まで一体で提供

- 住宅や生活物資など最低限必要な物的支援にとどまらず、広く民間の力を活用した生活支援までをワンパッケージで提供する。

東日本大震災被災者受け入れのための「絆」プロジェクト北九州会議

・北九州市社会福祉協議会
・北九州高齢者福祉事業協会
・北九州市

・北九州市自治会総連合会
・特定非営利活動法人北九州ホームレス支援機構

・北九州市民生委員児童委員協議会
・北九州商工会議所

	住宅確保	被災者受入	生活支援	寄付受付
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 公営住宅の確保・ 善意のオーナー物件の確保(無料)・ 低家賃物件の確保	<ul style="list-style-type: none">・ 被災者の受け入れと入居手続きを速やかに実施・ 家電品・見舞金等の提供	<ul style="list-style-type: none">・ 自治会、民生委員、ボランティア等による、生活相談、情報提供の実施・ 必要に応じて、心のケアや就業相談などに対応	<ul style="list-style-type: none">・ 募金、寄付金を市民・企業などから受け付ける
担い手	主に行政、市民	主に行政	主にNPO 市社会福祉協議会 行政(就労・福祉部門)	主に市社会福祉協議会

避難者に対する支援の内容

■ 住宅の提供

- 公営住宅を無料(半年間もしくは状況に応じて最長2年間)、民間住宅も同等もしくは格安で提供

■ 生活物資の提供

- 洗濯機、冷蔵庫、テレビ、炊飯器、電子レンジ、布団セット、見舞金などを提供

■ 日常生活支援

- 自治会、民生委員、NPOスタッフ等による見守りや生活情報の提供、伴走型支援

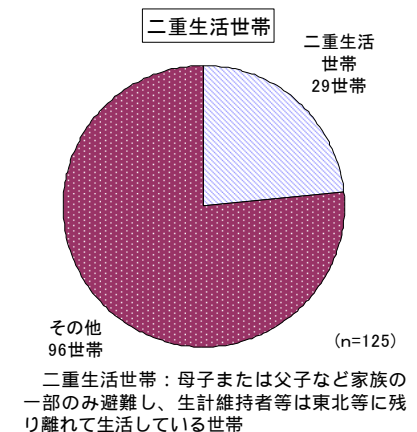
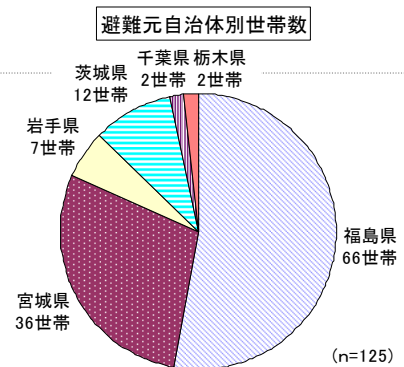
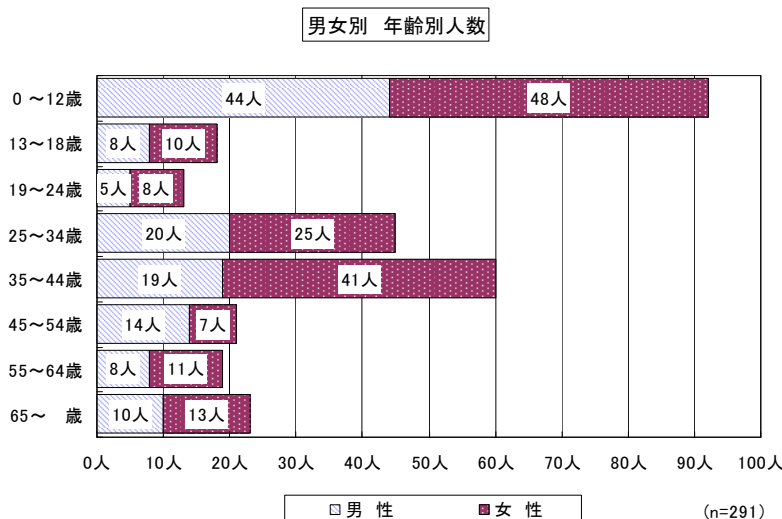
■ 生活再建相談

- 心のケアや就業・就学など、様々な相談に、関係機関が対応

避難者の受け入れ状況

- 125世帯、291人の方を受け入れ、支援を実施。

(2月12日現在の本市在住者数:85世帯、194人)



市民・企業の協力

■ 募金・寄付金

- 絆プロジェクトに対し、約65,000,000円もの募金・寄付金が寄せられました。
※絆プロジェクトによる避難者への支援は、市民、企業の皆さんからの募金・寄付金を活用して行われています。

■ 地域での声かけ、見守り

- 自治会関係者や民生委員をはじめ地域の方に、声かけや生活情報の提供などを通じ、地域で安心して暮らせるよう、きめ細かな生活支援を行っていただいています。

■ イベント等への招待

- 多くの企業・団体から、祭りやイベント等への招待、サービスの提供の申し出などをいただいています。